

# かわいがられ、地域貢献する加計高校 ～ミライ探究プロジェクトの活動を通して～



学校	学校運営協議会	地域学校協働活動推進員等数 (赤字は内学校運営協議会委員数)	地域学校協働本部
広島県立 加計高等学校	加計高等学校学校運営協議会 令和元年4月1日 設置	地域学校協働活動推進員 0名 0名 地域コーディネーター 2名 1名	-



## 取組の背景及び目標や目指す姿

### 背景

本校は、広島県西北部の中山間地で、高齢化率県内No1の安芸太田町にある町内唯一の高校である。各学年1クラスの普通科で全校生徒108名が在籍している。少子高齢化が進行する同町では、移住促進策を推進しており、特に若者の「仕事づくり」は最重要課題として位置付けられている。町内にある自然資源や特産品、町の98%以上を占める森林資源等を若者が最大限活用して、ローカルビジネスやソーシャルビジネスを創造することができる地域社会の形成が喫緊の課題である。

### 目標や目指す姿(学校)

地域活動等を積極的に推進することにより、地域から愛され、応援される学校として存続し、地域貢献できる人材の育成

### 目標や目指す姿(地域)

様々な体験活動を通して地域の課題を発見する態度と、起業家精神を養い、地元地域へ貢献しようとする人材の育成



## 加計高等学校学校運営協議会 の特徴

### 委員の立場や属性等

- |                                       |                                     |
|---------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 同窓会関係者       | <input type="checkbox"/> 保護者・PTA関係者 |
| <input type="checkbox"/> 町商工会関係者      | <input type="checkbox"/> 企業関係者      |
| <input type="checkbox"/> 町教育委員会関係者    | <input type="checkbox"/> 学校関係者      |
| <input type="checkbox"/> 町役場関係者       | など、計 <b>9</b> 名で構成                  |
| <input type="checkbox"/> 青少年育成町民会議関係者 | 年間平均 <b>3</b> 回程度開催                 |

### 効果的な運営の工夫

- ・学校運営協議会での議論をより実効性のあるものにするため、年度当初に、町長・町教育長・同窓会長・PTA会長・学校長等で構成される「加計高校を育てる会」を開催し、町全体の俯瞰的な視点を踏まえて年度の振り返りや議論の柱の整理等を行っている。
- ・毎月1回、学校・町・生徒寮の連絡協議会(学校関係者、町教育委員会担当者、寮の指定管理者で構成)を開催し、学校・寮生活における生徒の実態や具体的な課題等を把握した上で、学校運営協議会の委員と共有することを通して、学校の教育目標や生徒の課題等を踏まえた実効的な取組を企画することができるよう工夫している。



## 特徴的な取組と成果・効果

### 学校運営協議会

総合的な探究の時間での学習体験を地域と連携した実践的な取組(ミライ探究プロジェクト)に深化させるための学校外の拠点施設の必要性について、協議会で議論し、町と連携して人材育成交流センターを設置した。毎月実施する関係者会議の内容を踏まえて、地域人材を活用した効果的な運用を行っている。



新寮(人材育成交流センター)

### 地域学校協働活動

ミライ探究プロジェクトでは、毎週1回放課後に、生徒が地域住民等と連携して、地域課題の解決に向けた様々なプロジェクトの企画・運営に取り組んでいる。地域コーディネーターや協議会委員等の助言をもらいながら目標・課題を意識して取組内容のブラッシュアップを図っている。



地域を招いた中間発表会

### 「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施」のための工夫等

- ・学校運営協議会と学校活性化地域協議会(※)を同時開催(年3回)することを通して、多様な主体との連携を図っている。
- ※主な役割: 各実施主体(学校・教委・町・地域)が行う活性化策の検討、役割分担等の調整、進捗状況の把握や評価など
- ・地域コーディネーターがハブとなり、各実施主体との連携・協働を円滑に実施するとともに、活動の様子を学校ホームページに月10回程度掲載することを通して、協議会の委員等とタイムリーに情報共有し、フィードバックがもらえるよう工夫している。

## 取組

## 成果・効果

地域課題を発見・解決し、地元地域に貢献する「ミライ探究プロジェクト」の活動を通して、生徒と地域住民・地元企業等との連携協働体制が構築され、地元を愛し、課題発見・解決力や起業家精神を持つ人材が育成されるなど、学校と地域の目標(目指す姿)の実現に向けた効果的な協働活動が展開されている。

### 【令和3年度の活動実績(6件)】

- ①ブルーライトアップ(コロナ対応に尽力する医療従事者に感謝を表すイベント)
- ②小学生対象の夏休みイベント
- ③こども園・小・高・高齢者福祉施設がコラボしたアンチコロナタペストリー制作
- ④衆議院選挙の投票率アップ企画(中学校での主権者教育授業、投票所でのイベント)
- ⑤道の駅における「釣り堀カフェ」開催
- ⑥地元農産物(祇園坊柿・菊芋等)を用いた新スイーツ開発

### 【生徒のコメント】

・地域課題の解決に向けて、自ら企画したことを実現できた成功体験から、将来は地元で店を持ちたい

### 【地域・保護者のコメント】

・加計高校の生徒達からいつも元気をもらっているの、生徒のために地域も何かしてあげたい

### 【その他】

- ・活動6件中4件は進路希望に応じた課題研究企画であり、国立大学の総合型入試等の合格(7名)に繋がった
- ・生徒募集においてオープンスクールへの参加者数が1.4倍増加した(令和3年度56人→令和4年度79人)